【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第２区分
【発行日】平成25年2月21日(2013.2.21)

【公開番号】特開2011-221299(P2011-221299A)
【公開日】平成23年11月4日(2011.11.4)
【年通号数】公開・登録公報2011-044
【出願番号】特願2010-90684(P2010-90684)
【国際特許分類】
Ｇ０３Ｂ　17/56　(2006.01)
Ｇ０２Ｂ　 7/02　(2006.01)
Ｇ０３Ｂ　17/12　(2006.01)
Ｈ０４Ｎ　 5/225　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０３Ｂ　17/56　Ｆ
Ｇ０２Ｂ　 7/02　Ｅ
Ｇ０３Ｂ　17/12　Ｚ
Ｈ０４Ｎ　 5/225　Ｄ

【手続補正書】
【提出日】平成24年12月28日(2012.12.28)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
撮影レンズのレンズ鏡胴の先端部に設けられた鏡胴側装着部と、前面アクセサリの後端部に設けられたアクセサリ側装着部とからなり、前記鏡胴側装着部と前記アクセサリ側装着部とを着脱することにより、前記前面アクセサリを前記レンズ鏡胴の先端部に着脱可能にした撮影レンズにおける前面アクセサリの着脱機構において、
前記アクセサリ側装着部は、アクセサリ側筒体と、該アクセサリ側筒体の内周面側に突出形成された係止部材と、を有し、
前記鏡胴側装着部は、前記アクセサリ側筒体の内側に配置される鏡胴側筒体と、
該鏡胴側筒体の外周面の周方向に形成され、前記係止部材と係合して前記係止部材を係止する係止溝と、
前記鏡胴側筒体の外周面に形成され、前記鏡胴側筒体の先端面から前記係止溝まで延在する溝であって、前記係止部材を前記撮影レンズの光軸方向に移動させて前記係止溝まで導くガイド溝と、を有し、
前記係止部材が前記ガイド溝を移動した後、周方向に回転して前記係止溝に係合することにより前記前面アクセサリが前記レンズ鏡胴の先端部に装着されると共に、
前記アクセサリ側装着部は、前記係止部材が前記係止溝に係合している状態において前記ガイド溝の側壁面に係合する位置に移動することにより、前記係止部材が前記ガイド溝の位置に回転移動することを規制するストッパ部材を備えた、
ことを特徴とする撮影レンズにおける前面アクセサリの着脱機構。
【請求項２】
前記ストッパ部材は、操作ネジの回転により前記ガイド溝の底面に当接する向きと、前記ガイド溝の底面から離間する向きとに移動し、前記ガイド溝の底面に当接する向きに移動することにより前記ガイド溝の側壁面に係合する位置に移動し、前記ガイド溝の底面か

ら離間する向きに移動することにより前記ガイド溝の側壁面に係合しない位置に移動することを特徴とする請求項１の撮影レンズにおける前面アクセサリの着脱機構。
【請求項３】
前記鏡胴側装着部は、前記係止溝に前記係止部材の周方向への回転移動を規制する突起を備えたことを特徴とする請求項１、又は、２の撮影レンズにおける前面アクセサリの着脱機構。
【請求項４】
前記係止部材と該係止部材と係合する前記係止溝とが複数箇所に設けられ、前記ストッパ部材は複数のガイド溝のうちのいずれか１つのガイド溝の側壁面に係合する１つのみが設けられたことを特徴とする請求項１、２、又は、３の撮影レンズにおける前面アクセサリの着脱機構。
【請求項５】
前記前面アクセサリは、撮影レンズの焦点距離を変更する補助レンズであることを特徴とする請求項１、２、３、又は、４の撮影レンズにおける前面アクセサリの着脱機構。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００９
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００９】
前記目的を達成するために、請求項１に係る撮影レンズにおける前面アクセサリの着脱機構は、撮影レンズのレンズ鏡胴の先端部に設けられた鏡胴側装着部と、前面アクセサリの後端部に設けられたアクセサリ側装着部とからなり、前記鏡胴側装着部と前記アクセサリ側装着部とを着脱することにより、前記前面アクセサリを前記レンズ鏡胴の先端部に着脱可能にした撮影レンズにおける前面アクセサリの着脱機構において、前記アクセサリ側装着部は、アクセサリ側筒体と、該アクセサリ側筒体の内周面側に突出形成された係止部材と、を有し、前記鏡胴側装着部は、前記アクセサリ側筒体の内側に配置される鏡胴側筒体と、該鏡胴側筒体の外周面の周方向に形成され、前記係止部材と係合して前記係止部材を係止する係止溝と、前記鏡胴側筒体の外周面に形成され、前記鏡胴側筒体の先端面から前記係止溝まで延在する溝であって、前記係止部材を前記撮影レンズの光軸方向に移動させて前記係止溝まで導くガイド溝と、を有し、前記係止部材が前記ガイド溝を移動した後、周方向に回転して前記係止溝に係合することにより前記前面アクセサリが前記レンズ鏡胴の先端部に装着されると共に、前記アクセサリ側装着部は、前記係止部材が前記係止溝に係合している状態において前記ガイド溝の側壁面に係合する位置に移動することにより、前記係止部材が前記ガイド溝の位置に回転移動することを規制するストッパ部材を備えた、ことを特徴としている。